

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第18号

第18週(4月28日～5月4日)

発行年月日:平成15年(2003年)5月9日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (18週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (18週)	全国 (18週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	162	6	693
	パラチフス	0	0	12	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	165	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	165	6	453
	エキノкокクス症	0	0	9	1	9
	急性ウイルス性肝炎	1	1	307	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	37	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	27	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	3	288	6	888
	ツツガムシ病	0	1	40	0	329
	梅毒	0	1	157	4	561
	破傷風	0	1	22	0	105
	レジオネラ症	0	0	44	1	166

*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.02	0	0.10	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.59	2.57	0.17	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.53	0.14	1.00	0	1.00	0.50	0	1.50	
感染性胃腸炎	3.41	6.00	8.00	2.25	0.80	0.25	0.50	1.50	
水痘	1.81	0.71	4.00	1.50	0.80	3.25	1.25	0.50	
手足口病	0.19	0.43	0.50	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.06	0.14	0.17	0	0	0	0	0	
突発性発疹	0.31	0.57	0.17	0.75	0	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.47	0.14	1.50	0	0.20	0.50	0.25	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	2.00	0	1.00	0	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

水痘の発生に地域的な偏り SARS関連の累積報告数

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、大部分の感染症において、定点当たり患者数が減少傾向となっていますが、伝染性紅斑、麻疹および流行性耳下腺炎については軽度の増加傾向を示しています。

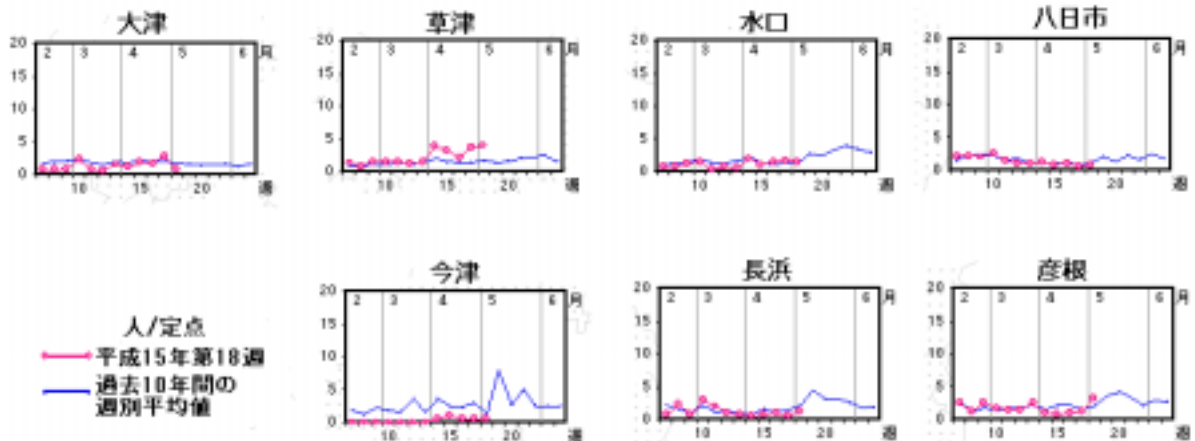
咽頭結膜熱については、先週よりかなり減少していますが、大津保健所管内の定点当たり患者数は2.57となっています。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数7.50より減少し、今週は3.41となっていますが、大津草津保健所管内の定点当たり患者数は、それぞれ6.00、8.00と多くなっています。

水痘については、定点当たり患者数が先週よりわずかに減少していますが、草津および彦根保健所管内において増加しています。

水痘の保健所管内別発生状況は下記のグラフのとおりです。

水痘の保健所管内別発生状況(平成15年第18週)



SARS関連の累積報告数

* SARSの報告数(H14.11.1～H15.5.7・WHOによる)

・症例数 **6903例** <死亡数**495例**を含む>
・報告があった国 カナダ、中国、香港、台湾、シンガポール
およびその他27カ国

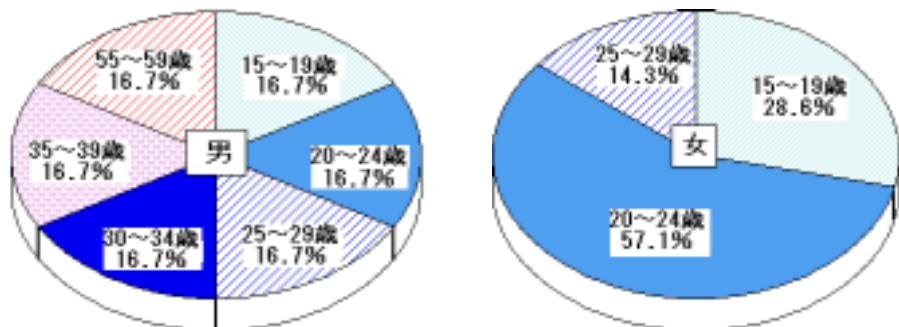
* 日本におけるSARSの疑い例等の報告状況(H15.5.8 17時現在・厚生労働省)

・疑い例 **46例** <疑いが否定された 43例 専門委員会の審査予定 3例>
・可能性例 **16例** <可能性が否定された 16例 専門委員会の審査予定 なし>
・確定例 なし

4) 性感染症・基幹定点における疾病別発生状況

月別・疾病別発生状況については、性感染症・基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)のグラフ参照。性器クラミジア感染症の性別・年齢別発生状況(4月)は下記のグラフのとおりです。

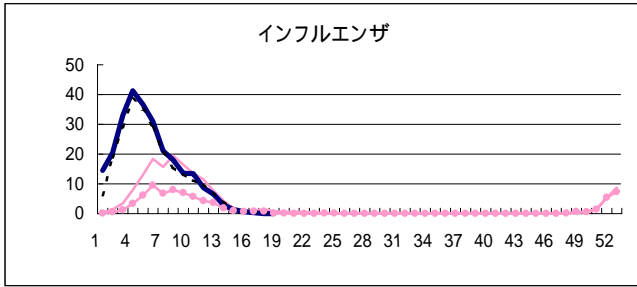
性器クラミジア感染症の性別・年齢別発生状況(4月)



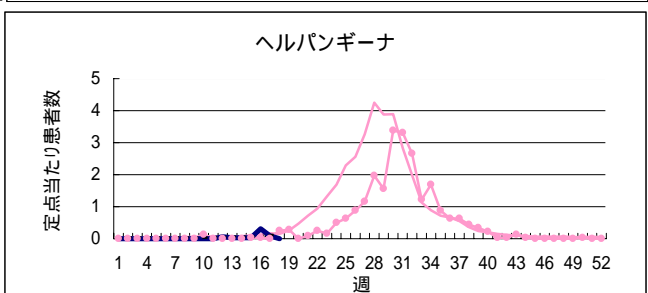
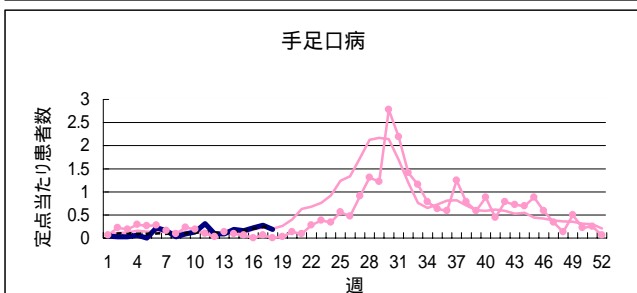
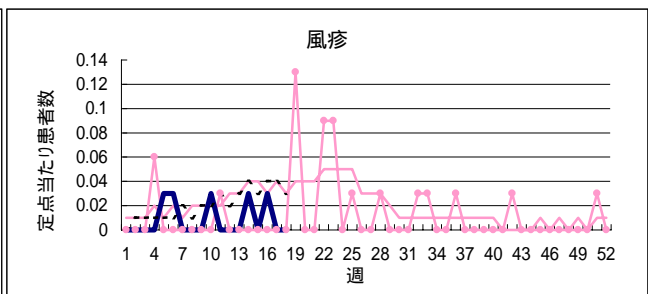
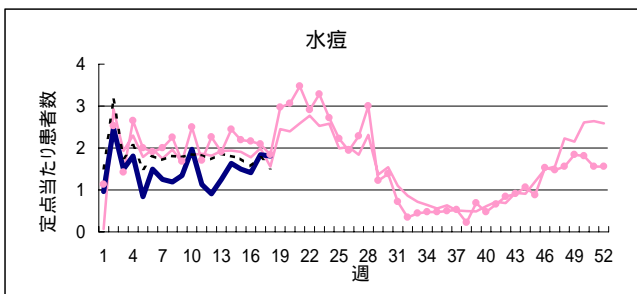
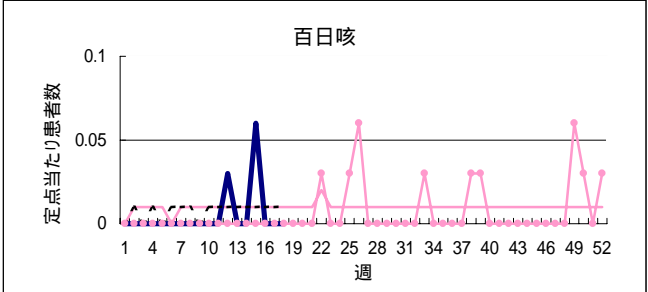
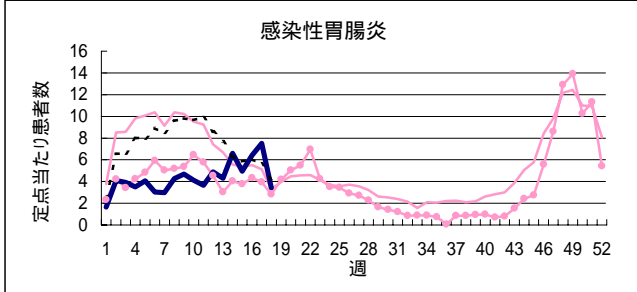
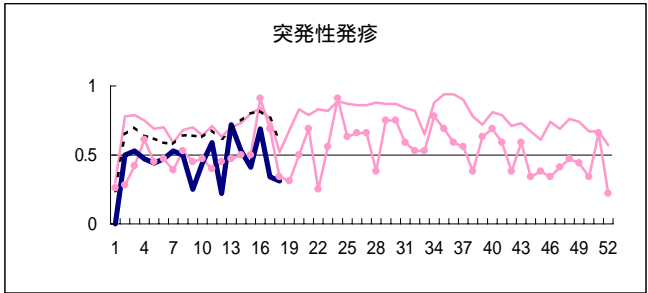
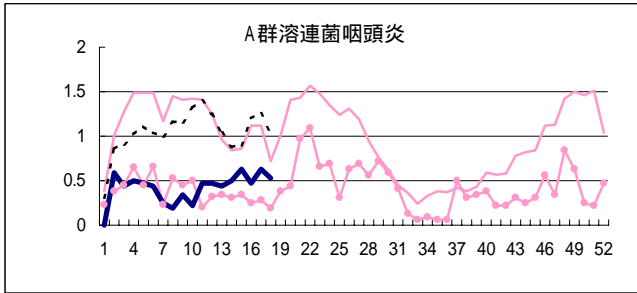
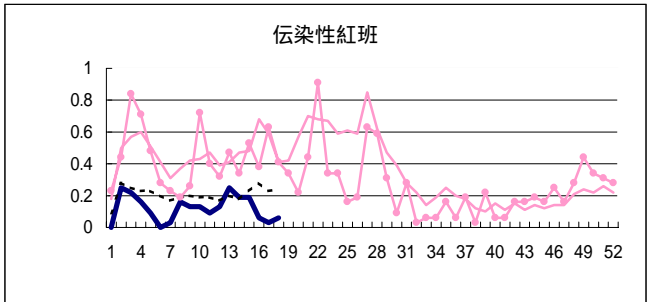
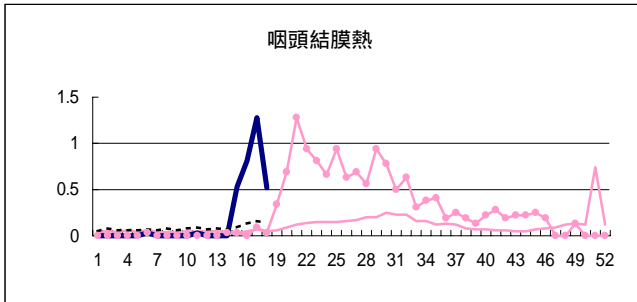
性別・年齢別発生状況(平成15年1月～4月、%)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	55～59歳
男	18.5	22.2	22.2	14.8	11.1	7.4	0	3.7
女	26.3	28.9	21.1	15.8	5.3	0	2.6	0

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第18週)

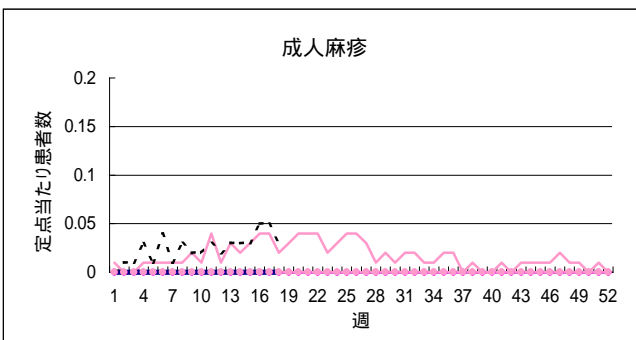
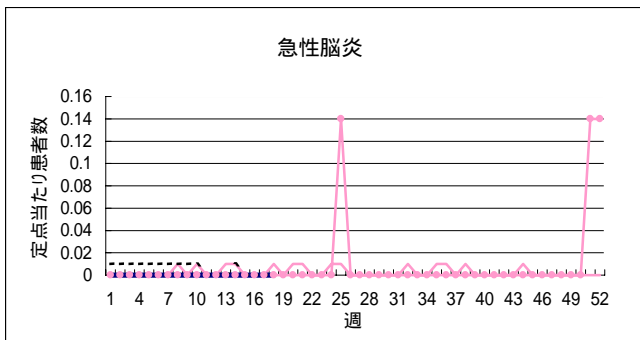
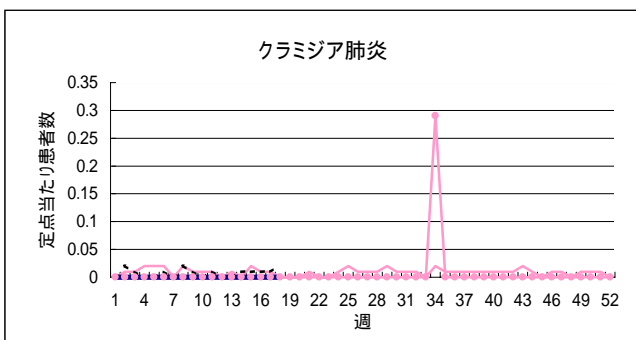
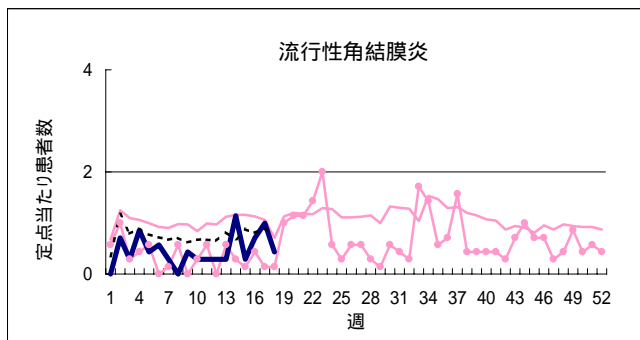
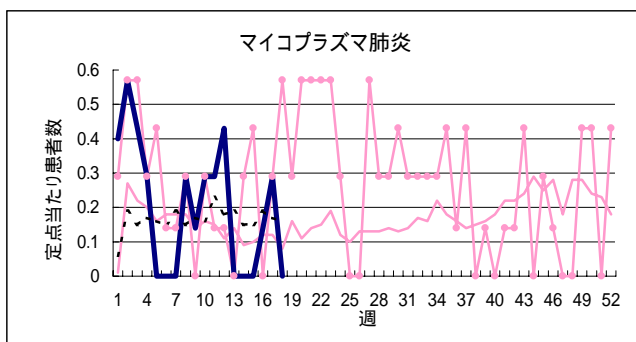
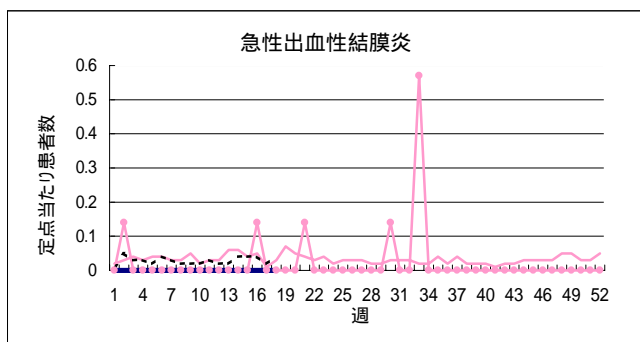
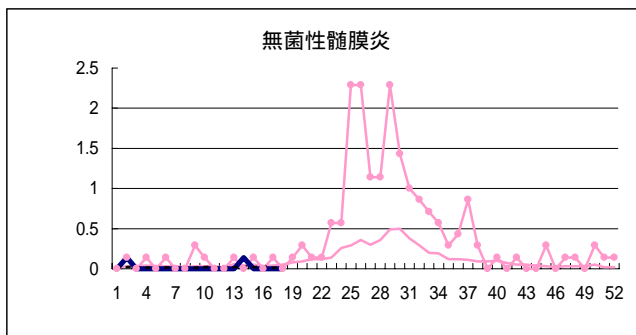
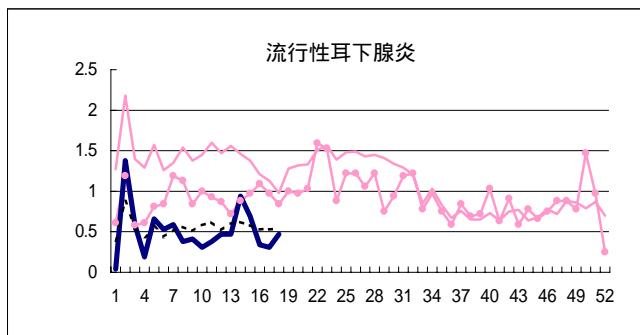
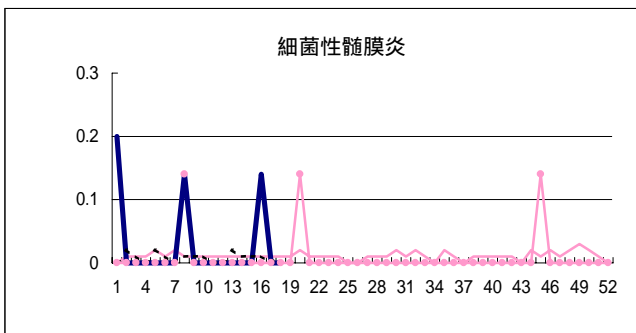
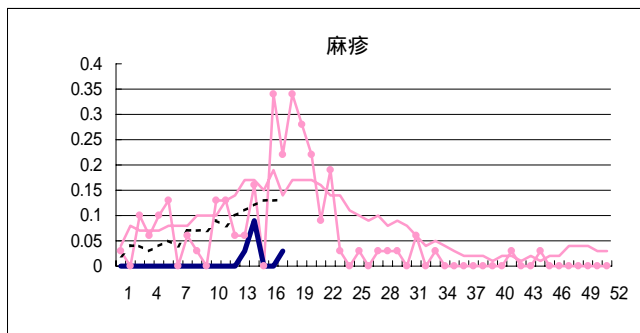


H14 { 滋賀 (solid pink line)
 全国 (dashed pink line)
 H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dashed blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第18週)

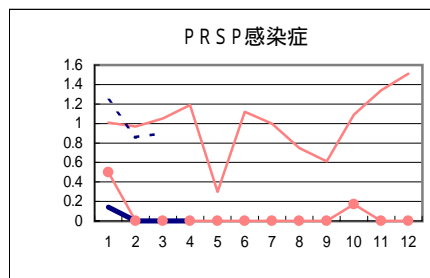
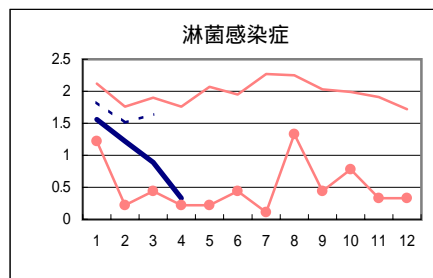
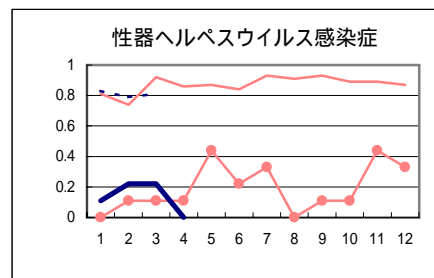
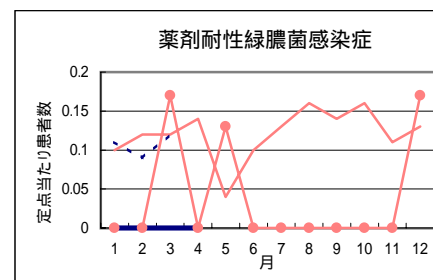
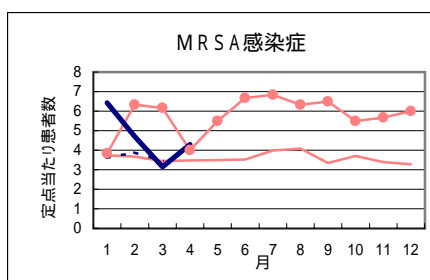
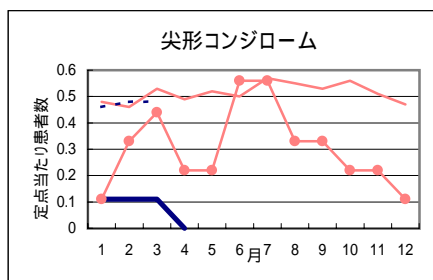
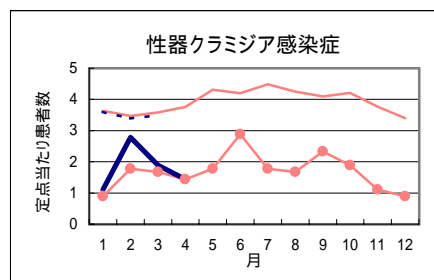
H14 〔 滋賀 ●●●●●● ●●●●●●
 全国 ○○○○○○ ○○○○○○
 H15 〔 滋賀 —————
 全国 - - - - -



性感染症・基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

4 月 報 (集計期間:平成 15年 1月 ~ 4月)

		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	10	25	17	13									65
	定点当たり	1.11	2.78	1.89	1.44									1.81
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	2	2	0									5
	定点当たり	0.11	0.22	0.22	0									0.14
尖形コンジローム	罹患数	1	1	1	0									3
	定点当たり	0.11	0.11	0.11	0									0.08
淋菌感染症	罹患数	14	11	8	3									36
	定点当たり	1.56	1.22	0.89	0.33									1.00
MRSA感染症	罹患数	45	33	22	30									130
	定点当たり	6.43	4.71	3.14	4.29									4.64
PRSP感染症	罹患数	1	0	0	0									1
	定点当たり	0.14	0	0	0									0.04
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0									0
	定点当たり	0	0	0	0									0



H14 { 滋賀 ●●●●●
 全国 ————
 H15 { 滋賀 ————
 全国 ●●●●●

MRSA感染症:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP感染症:ペニシリン耐性肺炎球菌